

教育懇談会を各小学校校区で開催しました

10月下旬から11月下旬にかけて、戸狩・木島・東・泉台・秋津・飯山・常盤の小学校校区で教育懇談会を開催しました。懇談会では、教育委員会及び学校長から、今年1月に策定された教育大綱、現在の学校や子ども達の状況を説明した後、保護者や地域の方々からご意見をいただきました。



主なご意見を紹介します。
・生徒数の減少が見込まれるが学校の統合予定はあるか。
・生徒送迎の保護者運動では、スピード等、危険な車がある。安全運転を呼びかけてほしい。
・部活動について、専門的な指導者がいる社会体育の案内をするなど、受入れ窓口を減らさないでほしい。
・特別支援学校との交流授業を今後も続けてほしい。
・学校の空き教室を、コミュニティスクールとして活用できたらいいのでは。
・自校給食は大変すばらしいこと。ぜひ継続してほしい。

グリーンベルトの延長が進んでいるが、早い時期の設置をお願いしたい。
各校区によって置かれている状況が異なるため、懇談会の内容は異なりますが、どの懇談会でも子ども達への熱い思いが伝わってきました。
多くの貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございます。今後の教育行政に活かしてまいります。
なお、教育懇談会の資料及び発言要旨につきましては、市ホームページにて掲載しております。

長野県青少年健全育成県民大会 in 飯山

11月12日(土)、長野県青少年健全育成県民大会が飯山市文化交流館なちゅらで開催され、全県から500名を超える関係者が飯山に一堂に会しました。



阿部知事から表彰される関谷公典様

阿部県知事、足立市長のあいさつに続いて行われた表彰においては、深堀忠夫さん(飯

高澤勇一さん PTA全国協議会で表彰

11月18日(金)、東京都で行われた平成28年度文部科学省(公社)PTA全国協議会年次表彰式で、瑞穂の高澤勇一さんが表彰されました。

現在、高澤さんは飯山市の子ども育成会連絡協議会会長を務めています。これまでに城北中学校PTA会長、市PTA連合会長、飯水PTA



連合会長、長野県PTA連合会副会長などを歴任。その功績に対して賞状が贈られました。

飯山栄チームでは過去最高の12位

第65回長野県縦断駅伝競走大会出場

11月19日(土)20日(日)の2日間、第65回長野県縦断駅伝競走大会が開催されました。

長野県を南北に走り抜く22区間175・5キロで県下15チームが争い、「飯山栄」チームも選手一丸となって晩秋の信濃路を駆け抜けました。

1日目は長野から岡谷までの12区間、119キロで行われ、第2区で石澤崇紀選手(飯山市)が区間5位、後半の第11区で



区間2位の佐藤聖也選手

金井奎選手(飯山市)が区間4位、第12区で広瀬竜也選手(栄村)が堂々の区間賞に輝き、時折雨の降る悪条件の中で、11位という成績でした。

ジュニアのための競技力向上講座を開催

11月26日(土)、飯山市スポーツ推進委員会主催「ジュニアのための競技力向上講座」が市武道館を会場に初めて開催されました。

この講座は、市内中学生を対象としており、当日は城南中学校女子バスケットボール部を始め市内中学生18名が参加しました。

講師に服部正秋氏(国際自然環境アウトドア専門学校専任講師)と沼田鉄平氏(沼田整形外科)を招き、「自分にとって最適なトレーニング方法を学ぶための知識」「怪我予防のためのトレーニング」について、グループワークや実技を交えながらお話しいただきました。



城南中学校・城北中学校 第10回北信越中学校駅伝競走大会出場



城南中学校選手

11月23日(祝)、第10回北信越中学校駅伝競走大会が、県松本平広域陸上競技場周回コースを会場に開催されました。



城北中学校選手

男子総合は城南中が20位、城北中が33位。女子総合は城南中が37位の結果を収めました。

一人の心の積み重ね

飯山市立戸狩小学校長 清水 常寿

今年2016年。21世紀も早くも6分の1が終わろうとしています。
20世紀が終わりを迎え、いよいよ新しい世紀が始まるという時に思ったことがあります。それは、ベルリンの壁の崩壊に代表される、世界平和への期待でした。20世紀は戦争の世紀、21世紀を象徴する言葉はきっと「平和」だろうと、そんなことを期待を込め、確信していました。ところが、いざスタートしてみれば、平和な世界が訪れるどころか、テロを始めとして戦争などの国家間の争い、異

民族間の争い、更には、人と人との争いなど心が痛むニュースばかりが、連日テレビや新聞で報道されているのが現実です。人間は争わなくては生きていかなければならないものだろうか、切なくなりそうです。そんなことを思う反面、自分自身を振り返ってみれば、私も様々な場面で人を傷つけ、争いのもとを作っているように思います。

戦争もテロも喧嘩もトラブルも、元をたせば相手を尊重する気持ちの欠如、自分を振り返る心の欠如が原因だと思えます。自分の非を認め、

相手を認める心を持つことが、この世の中から争い、差別、いじめをなくすことには必ずです。些細なトラブルはあっても当然ですが、トラブルになった時に自分の非を振り返られる心を持ちたいものです。一人一人のちょっとした心の持ち方が、やがては世の中を動かす大きな力へとつながっていくはずです。